

# プラスチックリサイクルに向けた課題と展望

日時：2022年 9月 16日(金) 13:30～

会場：**食情報館** <東京都中央区八丁堀2-14-4 ヤブ原ビル6階  
日本食糧新聞社 内 1階はマルエツプチ>

参加費：一般受講ご希望者 16,500円(税込)  
【食品ニューテクノロジー研究会 会員企業は無料になります】



座長：雪印メグミルク(株) 常務執行役員 研究開発担当 川崎功博氏

食品業界にとって容器包装や製品などのプラスチックは、無くてはならないものであり、製造・流通を経て消費、廃棄に至るまで、それぞれの過程で重要な役割を担っている。これまでの技術の進歩により、プラスチックの機能は様々に進化しており、これにより食品が消費者の手に届くまでに、中身製品の品質を高度に維持する等の働きをしている。また、プラスチックが自由に成型できることから、食品の容器包装の使い勝手の良さをもたらすことができるのも優れた点である。

一方で海洋プラスチックの問題に象徴されるように、プラスチックは自然環境下で分解されにくく、持続可能な循環型社会を実現するためには、プラスチックのリサイクルについて取り組まなければならない。今回の食品ニューテクノロジー研究会では、食品業界においても今後重要な課題であるプラスチックリサイクルについて、この問題に詳しいお二人の先生をお招きし、現状の課題と今後の展望について講演頂く。皆様のご参加お待ちしております。

【講演1】 13:40～ 14:50

## プラスチックリサイクルに関する現状の課題と展望

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 専務理事 久保直紀氏

<https://www.jcpra.or.jp/>

【講演2】 15:00～ 16:10

## 資源循環戦略を支えるケミカルリサイクルと

## バイオプラスチックの新技术展望

東北大学大学院環境科学研究科 教授 吉岡敏明氏

<http://www.che.tohoku.ac.jp/~env/staff.html>

【座長まとめ】 16:10～ 16:30

■Webセミナーも実施します。 ZOOM使用

日本食糧新聞社 (食品ニューテクノロジー研究会)  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-14-4 ヤブ原ビル7階  
TEL03-3537-1310 FAX03-3537-1071

# プラスチックリサイクルに向けた課題と展望

- ◇ 申込後、請求書を発行いたします。
- ◇ メールにてご連絡いたします。

FAXで **03-3537-1071** までお申し込み下さい。

会社名			
住所	〒		
TEL			
○印	部署／お役職	お名前	E-mail or FAX
来場 / Web			
来場 / Web			
来場 / Web			

■ZOOM使用のWebセミナーも実施しますが、講師陣はご参加者との歓談を希望しておりますので、来場受講をご検討ください。感染防止対策しております。



## 会場案内

最寄駅  
 JR 東京駅 八重洲中央口 徒歩12分  
 JR 京葉線 八丁堀駅 A3 出口 徒歩7分  
 東京メトロ日比谷線 八丁堀駅A5 出口 徒歩2分



◎セミナー情報

<http://bit.ly/Ke3If3>

◎セミナー申込サイト

<https://forms.gle/WLPzfqN365kAmeR79>

■Webセミナーも実施します。 ZOOM使用

### 次回案内

2022年 10月 調整中 日( )13:30～ 食情報館

座長：東京大学大学院 農学生命科学研究科 特任教授 阿部啓子 氏

講師：